



情文センターFAX・メール通信

～ センター職員をつがやき ～

極寒の季節、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

能登半島地震の被害により避難生活を余儀なくされている方々にはことのほか厳しい冬となっているでしょう。一日も早く穏やかな日常が戻ることを願います。

さて、昨年はろう社会の重鎮であった方が相次いで儂くなられました。そのお一人、土谷道子さんは当センターの職員でもありました。私も短い間ではありますが一緒にお仕事する機会に恵まれました。

土谷さんは日本のろう女性初のギャロデット大学を卒業された方です。ろう者が大学に進学すること自体珍しく、海外旅行もまだまだ一般的ではなかった昭和40年代のことでした。理知的でありながらもお茶目な面も持ち合わせた魅力的な方で、人間としても同性の先輩としても尊敬できる方でした。帰国後はASLの普及やろう者通訳の先駆けとして活躍されました。

せんないことと知りつつも、もしも土谷さんが聴者だったら…と思うと難民高等弁務官として活躍された緒方貞子さん、国際通貨基金IMFのラガルドさん、アメリカ初の最高裁判事オコナーさん、こうした方にも匹敵するような方になったかもと、いらぬ妄想をさせていただきます。土谷さんがアメリカに渡られて60年、社会のあり方も人々の意識も変わってきました。しかし、ろう者が自分の力を遺憾なく発揮できる社会というのはまだ少し先のような気がします。

松井 美奈子

#このコーナーは職員が交替で日頃の思いをつがやきます#

聴覚障害者情報提供施設からのお知らせ

手話サロン 【申込必要・無料】

日時:2/8(木)13:30~15:00

会場:当センター 地下研修室

手話で気軽におしゃべりしましょう。

聞こえない家族がいる聴者は参加できます。



聞こえの相談会

日程:2/17(土)(月1回開催) 【申込必要・無料】

時間:①10:00 ②11:00 ③13:00 ④14:00 ⑤15:00

会場:当センター ※補聴器の販売はありません

1回50分程度、無料聴力測定と相談を行います。

聞こえや補聴器についてお困りのことをお伺いし、

不安を軽くするお手伝いをいたします。

日本語字幕付きドラマ上映会

日時:2/22(木)13:30~15:30

会場:当センター 地下研修室 【申込必要・無料】

『マラソン』 2007年95分

自閉症の青年・彰太郎は、走ることに對して人並み外れた能力を持っていた。雑誌記者のさなえは、彰太郎の才能に気づき、フルマラソンに挑戦させるため、大学時代の同級生・野口にコーチを依頼する。(このドラマは実在の自閉症の青年・ヒョンジン君の話をもとに描かれている。)

二宮和也、田中美佐子、内藤剛志 出演



やさしいヨガ 【申込必要・無料】

日時:2/29(木)13:30~15:00

会場:当センター 地下研修室

定員:10名 ※定員に達し次第締切り

講師:Hiroko氏(手話通訳あり)



情文センターだより(動画版)も

毎月更新しています!

こちらからご覧ください。



社会状況によっては変更となる場合があります。行事に参加する時は、感染防止にご協力をお願いします。

(社福)聴覚障害者情報文化センター聴覚障害者情報提供施設 〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3

TEL:03-6833-5004 FAX:03-6833-5005

Eメール soudan@jyoubun-center.or.jp ウェブサイト <http://www.jyoubun-center.or.jp/>

【開館】火・水・木・土曜日10時~17時 金曜日は19時まで【休館】日・月曜日・祝日・年末年始

★FAX・メール通信の配信停止、配信方法の変更などありましたらお知らせください★